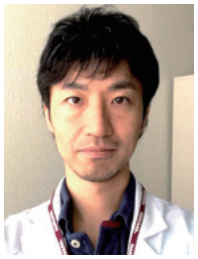
臨床検査専門医プログラム

定員 2名



プログラム責任者
総合診療・検査診断学講座
植木　重治 教授

専門研修担当者連絡先	植木　重治　教授 TEL.018-884-6209　FAX.018-884-6209 E-mail　shigeh@hos.akita-u.ac.jp HP　https://www.med.akita-u.ac.jp/~gimclm/

プログラムの特徴

日本臨床検査医学会は基本領域学会の一つであり、県内で専門医コースを開設するのは当科のみです。基本的には大学病院の検査部を中心に研修しつつ、一般病院の検査部や内科外来、感染制御などのチーム医療の研修を並行して行います。また、臨床検査専門医の特性上、基本領域のダブルボードも可能であり、他科の専門医取得後にプログラムに入ることもできます。

プログラムの説明

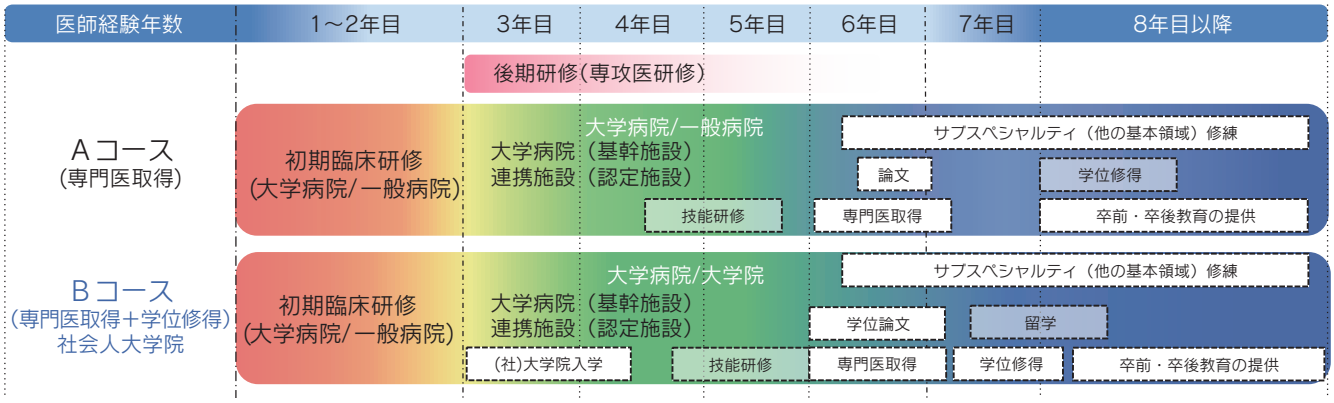
臨床検査は、EBMにおける客観的な指標として診療にかかせないものです。臨床検査専門医は、検査技師とともに検査の品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に従事する専門医です。検査医の存在は、教育病院や基幹病院の診療・教育・研究に重要であるとともに、診療報酬（検体検査管理加算料）の面から病院経営にも大きく貢献することができます。

医師として深い造詣を持つには、学問として医学をとらえる時期が必要であると考えます。その入り口として臨床検査医学は最適ではないでしょうか？ 博士課程への進学も推奨していますが、これは病態を明らかにするとともに、その知見を検査や診断学に落とし込むこと、新しい治療に結びつけていくことを体験してもらうためです。この経験は医師人生にとって非常にエキサイティングなものとなるはずです。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設 など

東北地区の認定研修施設は6施設のみで、秋田大学はそのひとつです。講座のスタッフは、日本臨床検査医学会専門医・管理医、日本プライマリ・ケア学会　認定医（指導医）、日本内科学会　総合内科専門医（認定医）、認定内科医（指導医）、日本アレルギー学会専門医（指導医）、日本肝臓学会専門医、日本感染症学会専門医など、各領域にまたがっており、研修を通じて診療科に関わらず横断的な、多様な視点が養われることを期待しています。関連施設は大曲厚生医療センターのみで、基本的に大学で研修を行いますが、関連施設を増やす予定ですので、個々の希望に応じてフレキシブルに対応します。

■取得までのキャリアパス



◆主要なサブスペシャルティ（予定）：感染症専門医、その他の基本領域とのダブルボード